

様式4

第1 事業計画

1 個別事業計画一覧表(1)

令和 年 月 日 現在

目標	事業種目 (メニュー)	実施市町村	事業実施主体	事業量 (ha、m、箇所)	事業費 (千円)	国費 (千円)	備考	
林業・木材産業の 生産基盤強化	間伐材生産	豊田市	愛知県	間伐材生産	7.90	2,451	1,225	259千円/ha、130m ³
				関連条件整備活動				
				うち森林作業道整備				
		合計			7.90	2,451	1,225	
	路網整備・ 機能強化	豊田市	愛知県	林業専用道(規格相当)の整備				
				A区分				
				B区分				
				C区分				
				補強				
				点検診断				
				森林作業道の整備				
				林道等の機能強化				
				機能強化(単独型)				
				機能強化(一体型)				
				森林作業道の機能強化				
林業専用道(規格相当)の復旧								
	合計							
	附帯事務費							
	総計			7.90	2,451	1,225		
森林整備の地域 活動推進	新城市	(株)明善フォレスト	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林経営計画作成促進	110	4,690	2,345	令和5年度実施基金	
			交付金合計					
			基金合計	110	4,690	2,345		
	新城市	(株)明善フォレスト	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林境界の明確化	60	2,700	1,350	令和5年度実施基金	
			交付金合計	0	0	0		
			基金合計	60	2,700	1,350		
	新城市	(株)明善フォレスト	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林所有者の探索					
			交付金合計					
			基金合計					
	新城市	(株)明善フォレスト	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林経営計画作成・森林境界の明確化に向けた 条件整備					
			交付金合計					
			基金合計					
	愛知県	(株)明善フォレスト	(森林整備地域活動支援対策のうち) 都道府県推進事務		25	25	令和5年度実施基金	
			交付金合計		0	0		
			基金合計		25	25		
新城市	(株)明善フォレスト	(森林整備地域活動支援対策のうち) 市町村推進事務		25	25	令和5年度実施基金		
		交付金合計		0	0			
		基金合計		25	25			
	交付金総計			0	0	0		
	基金総計			170	7,415	3,720		
再造林の 低コスト化 の促進	豊田市	(株)河本材木店	低コスト造林の支援					
			うち一農作業システム	5.00	3,240	2,160	322,000円/ha 植栽樹種：スギ・ヒノキ 植栽本数：1,500本/ha	
			うち低コスト造林				円/ha 具体的な施策： 植栽樹種 植栽本数：本/ha	
			うち下刈り				円/ha 下刈り回数：回目	
			機械器具の整備				資機材の種類：	
			関連条件整備活動					
			うち森林作業道の整備					
			合計	5.00	3,240	2,160		
附帯事務費								
総計	5.00	3,240	2,160					

(注)

- 「間伐材生産」及び「路網整備・機能強化」の事業実施主体については、林野庁長官が別に定める考え方に則って都道府県知事が選定した林業経営体、本事業の対象となる事業実施主体を記載すること。
- 「間伐材生産」及び「路網整備・機能強化」の各欄については、林野庁長官が別に定めるところにより都道府県知事が設定した生産基盤強化区域内又は市町村森林整備計画に定める特に効果的な施策が可能な森林の区域内において実施する事業について記載すること。
- 「実施市町村」は、事業実施主体が事業を予定している市町村名を記載すること。
- 「事業費」、「事業費」及び「国費」については、事業種目ごとに合計を記載し、間伐材生産、路網整備・機能強化については、2事業の総計を「総計」欄に記載すること。
- 「間伐材生産」は、定額の単価と間伐材生産量を備考欄に記載すること。
- 「路網整備・機能強化」の「林業専用道(規格相当)」については、設計・技術審査会の設置状況を備考欄に記載すること。
- 「森林整備地域活動支援対策」については、「交付金」「基金」別に記載することとし、備考欄に事業実施年度も記載すること。
- 「低コスト再造林対策」は、定額の単価及び具体的な施策、植栽樹種、植栽本数、下刈り回数、資機材の種類を事業種目に応じて備考欄に記載すること。

* 行については、適宜加除のこと。

様式5

事前点検シート

計画主体名	都道府県名		
実施年度	令和 6 年度	総事業費	5,691 千円
		(うち交付金	3,385 千円)

1 計画全体について

	項 目	チェック欄	備考欄
(1)	森林・林業基本計画、全国森林計画、地域森林計画、林業労働力の確保の促進に関する基本計画、木材安定供給確保事業に関する計画等をはじめ、その他各種関連制度・施策との連携、配慮、調和等が図られているか。	○	
(2)	事業実施関係者のみならず、関連部局、地域住民等との合意形成・連携・調整が図られているか。	○	
(3)	計画主体、事業実施主体及び関係者で協議会を設置するなど、事業の推進体制は確立されているか。	○	
(4)	事業計画を公表することとしているか。	○	
(5)	事後の評価結果について公表することとしているか。	—	
(6)	目標値については、都道府県における各種計画の目標数値との整合が図られており、かつ、情勢の変化や前年度の施策の効果の評価を踏まえて算定し、関係者の合意が得られたものであるか。(※1)	—	
(7)	前年度までの計画と同一の目標値を掲げている場合、本計画の目標値は、前年度までの計画の目標値を上回っているか。(上回っていない場合、その理由が整理されているか。)(※2)	—	
(8)	事前点検シートに掲げる項目について、判断根拠となる書類を保存しているか。	○	
(9)	他省補助金との重複はないか。	○	

(注)

1 チェック欄には、該当する項目を満たしていることを確認し「○」を、該当ナシの場合は「—」を記入すること。
(必要に応じて名称等を記入)

2 (※1)： どのような手段により、どのような者と合意形成を図ったか備考欄に記載のこと。(別様可)

3 (※2)： 都道府県が作成する計画等の目標数値を適用しない場合、現状値及び目標値設定の根拠(理由)を備考欄に記載すること。(別様可)

達成状況評価シート
(事業構想「目標を定量化する指標」)

1 事業構想評価表

目標	メニュー	指標	開始年度	目標年度	1年目 (開始年度) 目標値	2年目 目標値	3年目 目標値	4年目 目標値	5年目 目標値	1年目 (開始年度) 実績値	2年目 実績値	3年目 実績値	4年目 実績値	5年目 実績値	最近年の達成率 (%) (実績値/目標値)	達成状況 評価結果	備考		
安定供給体制の整備推進	高性能林業機械等の整備	労働生産性 (m ³ /人・日) の増加率	H30	R4	11	12	13	14	15	15	21	12	21		150%	A			
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材加工流通施設等の整備	地域材利用量 (m ³) の増加率	H30		1	3	6	9	10	-	-	-	-			-	-	対象事業の地域材利用の現状値が0m ³ であり、これをもとに伸び率を算定すると異常値になるため、評価対象外とした。	
	木造公共建築物等の整備	木造化 (補助率1/2以内)	事業費当たりの木材利用量 (m ³ /百万円)		H30	2	2	2	2	2	2.24	2.24	2.24	2.24		112%	A		
		木造化 (補助率15%以内)			H30	4	4	4	4	4	9	8.08	8.08	8.08		202%	A		
		木質化			R1	1	1	1	1	-	2.93	2.93	2.93	-	-	-	-	-	
	木質バイオマス利用促進施設の整備	未利用間伐材等活用機材整備	事業費当たりの木質バイオマス利用量 (m ³ /百万円)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		木質バイオマス供給施設整備			H30	20	20	20	20	20	314	419	419	419		2095%	A		
木質バイオマスエネルギー利用施設整備		H30			2	2	2	2	2	8.39	11.19	11.19	11.19		560%	A			

(注)

- 1 達成率については、小数点以下を切捨てとする。
- 2 達成状況評価結果については、下表の達成状況評価値に応じ、A、B又はCを記載すること。

達成状況評価値	達成状況評価結果
80%以上	A
50%以上80%未満	B
50%未満	C

- 3 天災又は自己の責に帰さない事由による火災等が理由で、達成率が著しく低いと判断されるメニューについては、本シートにおける評価対象外とする。なお、該当するメニューについては、本様式に準じ別途事業構想評価表を作成することとし、その理由を記載すること。
- 4 各メニューの達成状況における、目標年度の目標値には下線を引くこと。
- 5 目標値及び実績値のうち、該当がない年度は、「-」を記入すること。

様式7の4

達成状況評価シート
(森林整備・林業等振興整備交付金)

1 個別事業評価表

目 標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等 区 分	設置年度	個別指標	目標年度（令和4年度）			備 考
							目標値	実績値	達成率（%） （実績値／目標値）	
望ましい 林業構造 の確立	高性能林 業機械等 の整備	林業機械 作業シス テム整備	(株)緑豊	林業機械 導入【素 材生産 型】	平成29年 度	素材生産量 素材生産性	6,450 4.8	6,065 5.0	94% 104%	
木材利用 及び木材 産業体制 の整備推 進	木材加工 流通施設 等の整備	木材加工 流通施設 整備	(株)東海林材 市場	木材集出 荷販売施 設	平成29年 度	地域材流通量	6,000	5,514	92%	

2 改善措置実施事業表

目 標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等 区 分	設置年度	個別指標	改善措置内容			備 考
							改善措置 実施時期	改善措置 後の目標 年度	改善措置の内容 （別様可）	

3 達成状況評価表

「1 個別事業評価表」における全施設数 (a)	2
「2 改善措置実施事業」における全施設数 (b)	0
(a) のうち達成率が70%以上の施設数 (c)	2
達成状況評価値 ((c) / ((a) + (b))) (%)	100
達成状況評価結果	A

(注)

- 「1 個別事業評価表」には、要領第2の6による事業計画申請年度の前年度に報告された達成状況報告のうち目標年度に係る事業を記載すること。ただし、目標年度及び目標年度までの期間に要領第8による改善措置を実施したとして報告された事業については、「2 改善措置実施事業表」に記載することとする。
- 林業・木材産業循環成長対策交付金創設以前の事業で、要領第14経過措置の「なお従前の例による」こととして報告された達成状況報告のうち目標年度に係る事業についても、「1 個別事業評価表」に記載すること。ただし、目標年度及び目標年度までの期間に改善措置を実施したとして報告された事業については、「2 改善措置実施事業表」に記載することとする。
- 「1 個別事業評価表」の「達成率」及び「3 達成状況評価表」の「達成状況評価値」については、小数点以下を切捨てとする。
- 「3 達成状況評価表」の達成状況評価結果については、達成状況評価値に応じA、B又はCを記載すること。

達成状況評価値 (c) / ((a) + (b))	達成状況評価結果
80%以上	A
50%以上80%未満	B
50%未満	C

- 天災又は自己の責に帰さない事由による火災等が理由で、達成率が著しく低いと判断される事業については、本シートにおける評価対象外とする。なお、該当する事業については、本様式に準じ別途個別事業評価表を作成することとし、その理由を記載すること。